

社会教育・地域教育の推進

令和8年1月

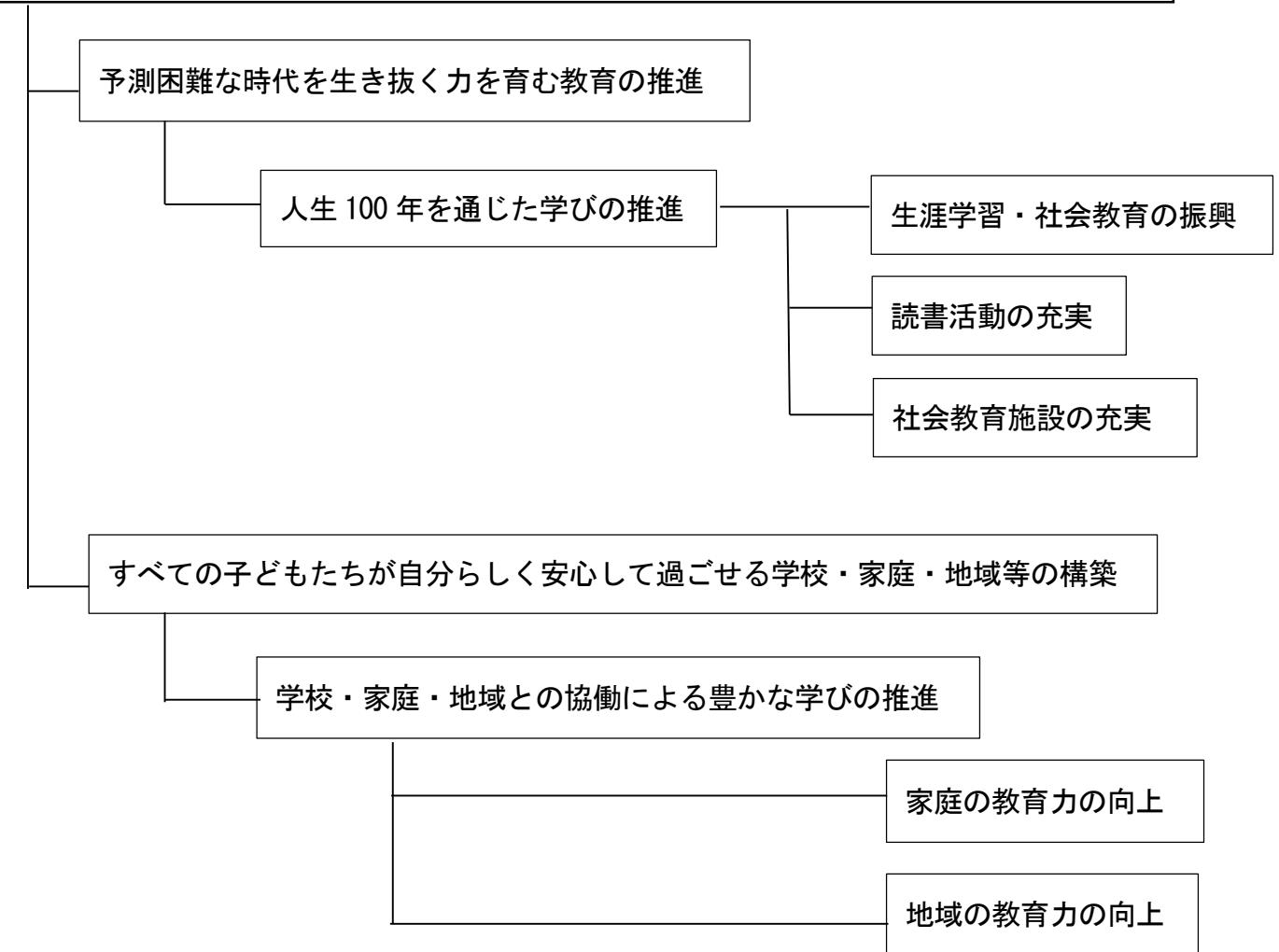
兵庫県教育委員会
社会教育課

目 次

令和7年度 社会教育課施策体系表	3
1 人生100年を通じた学びの推進	4
I 生涯学習・社会教育の振興	4
II 読書活動の充実	9
III 社会教育施設の充実	11
2 学校・家庭・地域との協働による豊かな学びの推進	25
I 家庭の教育力の向上	25
II 地域の教育力の向上	28

令和7年度 社会教育課施策体系表

兵庫が育む こころ豊かで自立する人づくり
—「『絆』を深め、『在りたい未来』を創造する力」の育成—



参考：社会教育行政における教育委員会と知事部局の役割分担

教育委員会と知事部局が一体となった生活文化行政を展開するため、教育委員会の権限に属する事務の一部を知事部局に事務委任（地教行法23条）

- | | |
|--|---|
| <p>教育委員会</p> <ul style="list-style-type: none">・社会教育関係の人材育成・社会教育施設の管理運営・家庭・地域と学校との連携
(地域学校協働活動、PTA活動支援等)・その他
(人権教育、文化財の保存と活用に関する事業など) | <p>知事部局</p> <ul style="list-style-type: none">・青少年教育・芸術文化・高齢者教育・家庭教育支援 |
|--|---|

1 人生100年を通じた学びの推進

I 生涯学習・社会教育の振興

県民一人一人が生涯にわたって主体的に学び続けることができるよう、社会の変化に対応して年齢を問わず必要となる基礎的なスキルの習得のための学習や、自己実現を図る上で必要となる学習等、リスクリソースやアップスクリーニングを目的としたリカレント教育も含めた県民の多様な生涯学習の機会や場の充実を図る。

また、地域住民自身が主体的に学ぶ意思をもち、教え学び合う当事者となり、その学習成果が地域コミュニティづくり、地域課題の解決を図るための活動に還元されるよう、社会教育を支える人材の養成、指導者の資質向上を図るとともに、行政、NPO（非営利団体）、大学、企業等の多様な主体との連携・協働により、地域創生に向けた社会教育の振興を図る。

1 障害者の生涯学習推進事業

10,312千円

(1) 「ひょうご障害者の生涯学習」連携コンソーシアム

障害者の生涯学習を支える持続的・総合的なネットワークの構築をめざし、関係機関が連携して研究・協議する会議を開催する。

構成団体：20団体

（大学、特別支援学校、社会福祉法人、民間団体、行政関係者 等）

開催回数：年3回

（令和7年7月2日（水）、9月25日（木）、令和8年1月21日（水））

内 容：ア 調査・実践研究

- ・ミュージアム・インクルージョン・プロジェクト
(障害のある人の博物館等利用促進に関する取組)
- ・自立的な障害者の生涯学習の推進にむけた地域の拠点づくり
・学びの場を検索するアプリの開発及び充実

登録件数140件（令和7年11月末現在）

イ 普及啓発

- ・啓発リーフレットの作成
- ・特別支援学校での学び場検索アプリ利用促進

ウ 人材育成

- ・障害者の生涯学習を支援する者を育成する研修会の実施



学び場検索アプリ



啓発リーフレット

(2) 共に学び、生きる共生社会コンファレンス

障害理解の促進や、支援者同士の学び合いによる学びの場の担い手の育成、障害者の学びの場の充実を図るため、学びの場づくりに関する好事例の共有・実践交流、障害者の生涯学習活動に関する研究協議等を行う。

対 象：障害者の学びに関心のある人、学びの支援者・障害者本人、関係者等

期 日：令和7年11月2日（日）

会 場：神戸大学百年記念館

主 催：兵庫県教育委員会、神戸大学

テ ー マ：誰もが、いつでも、どこでも学べる社会をめざして

内 容：当事者による実践発表、意見交流 等

参 加 者：115名



実践発表



意見交流

(3) 身体障害者社会学級

身体障害者に社会人としての幅広い教養や実用的な知識・技能等を習得するとともに、地域住民やボランティアとの交流を通して相互理解を深め、障害者の生涯を通じた多様な学習活動を支援する。

学級名	対 象	学級数・人数	内 容	県内開設地
青い鳥 学級	視覚障害者	6学級 8教室 【263名】	他市との交流、音楽 交流講座、防災講 座、健康体操 等	6地区
くすの木 学級	聴覚・言語 障害者	5学級 6教室 【155名】	料理教室、小物づくり、ニュースポーツ 体験、社会見学 等	5地区
たけのこ 学級	肢体不自由者 ※進行性筋ジスト ロフィー症者等	1学級 【83名】	アレンジフラワー、 音楽教室、園芸、 パソコン講座 等	独立行政法人 国立病院機構 兵庫中央病院

2 社会教育委員会議の開催

1,310千円

本県における社会教育の振興・充実に資するため、必要な調査研究及び社会教育団体に対する補助金の審議を行う。

委 員：15名（学校教育・社会教育・家庭教育関係者、学識経験者 等）

※任期 2年

テ ー マ：本県の障害者の生涯学習の推進に向けて

※令和7～8年度

内 容：①全体会議（年間2回開催）

第1回 令和7年9月11日（木）

- ・令和7年度社会教育関係施策について
- ・令和7年度兵庫県社会教育委員会議専門部会の構成について
- ・審議テーマに関する協議

第2回 令和8年3月

- ・令和8年度社会教育・生涯学習関連新規事業について
- ・令和8年度社会教育関係団体に対する補助金について
- ・審議テーマについての協議

②専門部会

審議テーマに関する調査・研究、協議を行う

第1部会（年間4回開催）

- ・市町における社会教育の実施状況の調査

第2部会（年間1～2回開催）

- ・審議テーマに関する審議報告の原案作成

第3部会（年間1～2回開催）

- ・県内における先進事例の収集と調査・研究
(県立人と自然の博物館を視察)



第1回全体会議



県立人と自然の博物館視察
(身体障害者社会学級)

3 社会教育関係職員等研修

社会教育の振興発展に寄与するため、県内の社会教育関係者が日頃の実践や研究の成果を発表し、情報交換を通して資質能力の向上を図る。

(1) 兵庫県社会教育委員協議会研修会

社会教育の振興・発展を図るため、市町の社会教育委員等を対象に、社会教育の課題や社会教育委員の役割、活動について協議を行う。

ア 兵庫県社会教育委員協議会総会及び研修会

期　　日：令和7年6月3日（火）

場　　所：県立のじぎく会館

内　　容・令和7年度の活動目標、事業計画について

　　・新たな時代の社会教育の視点について

参 加 者：99名



社会教育研究大会（全体会）

イ 兵庫県社会教育研究大会

期　　日：令和7年11月26日（水）

場　　所：神戸市教育会館

内　　容・全体会

　　・青少年健全育成を核としたまちづくり

　　・分科会（実践発表）

　　地域づくり、学校・家庭・地域の協働

　　阪神北地区（三田市、伊丹市、川西市、宝塚市、猪名川町）、

　　東播磨地区（加古川市）、中播磨地区（福崎町）



社会教育研究大会（分科会）

参 加 者：98名

ウ 近畿地区社会教育研究大会（和歌山大会）

期　　日：令和7年9月5日（金）（天候不良により中止）

場　　所：和歌山県民文化会館

エ 全国社会教育研究大会（岩手大会）

期　　日：令和7年10月29日（水）～31日（金）

場　　所：マリオス（盛岡市民文化ホール、盛岡地域交流センター）他

(2) 兵庫県公民館大会

公民館関係者等が集い、交流することにより、公民館運営のより一層の充実を図るため県大会の開催を支援する。

対　　象：公民館職員、公民館運営審議会委員、社会教育委員、公民館関係者、
社会教育・生涯学習行政職員、学校関係者 等

期　　日：令和8年1月30日（金）

会　　場：兵庫県いなみ野学園

テ　　マ：出会いと協働の創生～公民館にできること～

内　　容：基調講演、実践発表（神戸市、丹波市）

参 加 者：160名（予定）

4 社会教育主事の養成

県内の社会教育の振興を図るため、人づくりや地域づくりにおいて中核的な役割を担うことが期待される社会教育主事の資質能力の向上を図る。

(1) 社会教育主事講習への派遣

社会教育に関する専門的な助言・指導を行う社会教育主事を養成するため、全国の大学及び国立教育政策研究所社会教育実践研究センターで実施される講習に県・市町の行政職員や教職員等の派遣を行う。

実施主体：社会教育主事講習運営委員会

(近畿地区各府県、国立大学、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター)

実施内容：講義やグループ演習、宿泊研修等による専門的な知識、技能の修得

実施場所：神戸大学、岡山大学、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

受講者数：46名（令和7年11月末現在）

(2) 社会教育主事等研修の実施

社会教育関係者を対象に協議及び情報交換を行う研修会を実施することで、資質の向上及びネットワークの構築を図る。

対象：市町・教育事務所の社会教育主事、社会教育関係職員等

期日：令和8年2月4日（水）

会場：東灘だんじりミュージアム

内容：社会教育人材を中心とした社会教育の推進について

参加者：60名（予定）



社会教育主事等研修（講義）



社会教育主事等研修（グループワーク）

II 読書活動の充実

子どもの読書活動は、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることから、「ひょうご子どもの読書活動推進計画（第5次）」（令和6年3月策定）に基づき、子どもたちの本への関心を高め、読書習慣の定着を図る。

1 地域における読書活動の推進

800千円

読書に関わる地域人材等を活用し、子どもの多様な発達段階に応じて地域と学校が協力して不読率の低減等に向けた取組を行うことで、学校・家庭・地域が連携して子どもの読書活動を支援する環境づくりを推進する。

(1) 企画運営委員会の開催

委 員：学識経験者、公立図書館関係者、
読書ボランティア団体関係者、
学校図書館協議会関係者、
教育行政関係者

開催回数：年3回

令和7年6月27日（金）

令和7年10月31日（金）

令和8年2月4日（金）予定

内 容・事業のあり方や効果的な実施方法の検討

- ・「ひょうご子どもの読書活動推進計画（第5次）」の取組指標の達成状況の評価と今後の取組についての検討
- ・評価検証内容の効果的な周知方法（報告書作成等）の検討



企画運営委員会における協議

(2) 発達段階に応じた不読率低減に向けた調査研究

子どもの発達段階に応じた、地域と学校が連携した取組として、市町に委託し、以下3点を含むモデル事業を実施した。

研究地域：多可町

研究内容・小学生を対象とした、電子書籍読み放題サービス（Yomokka!）の活用

- ・小・中学生を対象とした、学校図書館の充実
- ・町立図書館による団体貸し出し増加に向けた取組

Yomokka!とは…読み放題型電子図書アプリ。全児童の電子端末にインストール。



Yomokka!で調べ学習に取り組む児童



学校図書館における展示上の工夫

(3) 「ひょうご子ども読書活動推進フォーラム」の開催

読書推進活動行政担当者・教職員・図書館職員向け研修会を実施し、読書活動の推進を図るとともに、社会全体における読書活動の普及啓発を図る。

日 時：令和7年11月21日（金）

会 場：東灘だんじりミュージアム

内 容：読書活動推進担当者向け研修会

- ・実践発表（先進地域の取組）
- ・ワークショップ（ミニ・ビブリオバトル）
- ・基調講演（読書効果の科学的エビデンスと『読書離れ』のいま） 等

参 加 者：55名



実践発表に耳を傾ける参加者

読書活動推進事業の実施（義務教育課）

児童生徒の自主的な読書活動を推進するため、読書活動推進教員を中心に、学校教育における読書の位置付けやねらいを明確にするとともに、学校図書館を中心とした地域全体による効果的な取組方法について、実践的な研究を行う。

(1) 推進教員の配置

指 定 校：中学校6校 ※中学校区で研究

指定期間：2年間（令和7～8年度）

内 容・読書活動の定着の工夫

（全校一斉読書、読書ノートの活用、ブックトークや読み聞かせの充実）

- ・家庭と連携した読書習慣の育成

- ・地域全体による効果的な読書活動の推進 等

(2) 連絡協議会の開催

対 象：読書活動推進教員、市町教育委員会 等

開催時期：年2回（令和7年5月26日（月）、令和8年2月6日（金））

内 容・家庭や地域と連携して取り組む読書活動の推進

- ・各教科における学校図書館の活用方法

- ・読書活動の習慣付けを図る効果的な指導の在り方 等

III 社会教育施設の充実

社会教育施設は、人が育ち、つながる場所として、学習手法や学習領域等における豊富な蓄積と、貴重な教育財産を有し、地域における社会教育、地域の教育力の向上の拠点として重要なものである。

社会教育施設がその役割を果たし、高齢者や障害者、子育て世代、子ども等、県民誰もが、美術館や博物館等の社会教育施設を楽しみ、一層利活用することができるよう社会教育施設の充実を図る。

1 ひょうごっ子ココロンカード（博物館等無料開放）事業 1,069千円

児童生徒が芸術、文化、歴史に親しむ環境づくりを推進するため、県内の小・中学生を対象に、ココロンカードを配布し、博物館等の無料開放を実施する。

(1) ココロンカードの配布

配布時期 小学校入学時（中学校卒業まで継続使用）

・配布枚数 45,000枚（761校）



(2) 対象施設数

201施設（令和7年5月現在）

うち、県立施設（15施設）

- | | | |
|-------------|-------------|------------|
| ・美術館 | ・歴史博物館 | ・人と自然の博物館 |
| ・考古博物館 | ・考古博物館加西分館 | ・円山川公苑美術館 |
| ・兵庫陶芸美術館 | ・人と防災未来センター | ・フラワーセンター |
| ・舞子海上プロムナード | ・淡路夢舞台温室 | ・横尾忠則現代美術館 |
| ・兵庫県木の殿堂 | ・但馬牧場公園 | ・兵庫津ミュージアム |

2 ひょうごプレミアム芸術デーの開催（県民生活部・社会教育課・文化財課・体育保健課）

教育委員会計上分 1,416千円

県民の芸術文化に触れる機会を充実するため、県内芸術文化施設を無料開放するひょうごプレミアム芸術デーの取組を県内市町・民間へ拡大するとともに、障害のある方や子育て中の方等にも配慮し、誰もが楽しめる取組を実施する。

期 間：令和7年7月9日（水）～15日（火）【7日間】

対 象：114施設（うち教育委員会所管の県立施設 8施設）

美術館、人と自然の博物館、コウノトリの郷公園、歴史博物館、
考古博物館、考古博物館加西分館（古代鏡展示館）、円山川公苑美術館、
木の殿堂

内 容・芸術文化施設の無料開放

- ・ナイト・ツアーやナイトミュージアム（人と自然の博物館）の実施
- ・障害者や子育て家庭等に配慮した取組の実施
(一時保育、自由に話せる観覧日、触れる展示、手話・要約筆記付き解説会 等)

3 H Y O G O ミュージアム魅力発信プロジェクトの実施（社会教育課・文化財課）

7,129 千円

2025年大阪・関西万博を契機に、ボランティア大学生等（ヒヨーゴ・ミュージアム・サポートアーズ）の柔軟で斬新な発想力や多様な発信力を活用し、県立社会教育施設の魅力発信や活性化を図る取組を企画・提案・実施する。

登録者数：42名 ※主な在籍校 神戸大学、神戸市外国語大学、神戸女学院大学 等
内 容：①サポートアーズ全体会議（3回実施）

取材内容やSNSの活用方法等の取組についての検討

②サポートアーズ施設訪問（3回実施）

展覧会のレポート、広報担当者や学芸員等への取材

③大阪・関西万博会場でのPR活動（令和7年9月）

関西フレンドシップウィーク会場にてサポートアーズによる県内ミュージアムの広報活動を展開
(ブース設置、ワークショップ、グッズ配付等)

④特設サイトやInstagram等による魅力発信

Webを活用して画像やコラムを投稿

⑤デジタルスタンプラリーの実施

大阪・関西万博会場（関西パビリオン）を実施施設に追加

対 象：美術館、人と自然の博物館、コウノトリの郷公園、
考古博物館、考古博物館加西分館（古代鏡展示館）、
歴史博物館、兵庫陶芸美術館、横尾忠則現代美術館、
兵庫津ミュージアム、県立図書館、円山川公苑美術館、
但馬牛博物館（デジタルスタンプラリーのみ）



施設訪問
(陶芸美術館)



大阪・関西万博会場
でのPR活動
芸術・美術館関連
(瀬戸内連携)



大阪・関西万博会場
でのPR活動
トキ・コウノトリ
(新潟・兵庫連携)



特設サイト

【FUN! FUN? MUSEUM !!】



特設サイト QR コード

4 博物館法改正に伴う博物館登録事業

995 千円

博物館法改正（令和5年4月1日施行）に伴い、博物館登録制度の見直しが行われたことを受け、県内の登録博物館及び指定施設について、令和10年3月末までに順次、再審査・登録を行う。

博物館登録・指定施設の状況（令和7年11月末現在）

施設の所管	施設数	内 訳
兵庫県	38 館	登録博物館 24 館 ※うち4館は新規登録 指定施設 14 館
神戸市	10 館	登録博物館 6 館 指定施設 4 館

5 県立美術館ー「芸術の館」ーの運営

776,522千円

所在地：神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1

設置年度：昭和45年度（県立近代美術館）

平成14年4月開館

設置目的：美術に関する県民の知識及び教養の向上を図るとともに、芸術文化の振興を図る。

利用状況：令和7年度 322,824名（11月末現在）
(令和6年度 435,985名)

※ 王子分館（芸術文化課所管）

・原田の森ギャラリー・横尾忠則現代美術館（平成24年11月開館）



（1）特別展

優れた近・現代美術を中心に、兵庫県にゆかりの深い美術家の作品紹介や、館の研究による新しい視点や価値を示す展示等を行う。 （令和7年11月末現在）

展覧会名	開催期間	観覧者数
パウル・クレー展 創造をめぐる星座	R7.3.29～R7.5.25（50日間）	55,548名
藤田嗣治×国吉康雄： 二人のパラレル・キャリア一百年目の再会	R7.6.14～R7.8.17（56日間）	29,724名
リビング・モダニティ 住まいの実験1920s-1970s	R7.9.20～R8.1.4（90日間）	17,784名
アンチ・アクション 彼女たち、それぞれの応答と挑戦	R8.3.25～R8.5.6（38日間）	—



藤田嗣治×国吉康雄：
二人のパラレル・キャリア一百年目の再会



リビング・モダニティ
住まいの実験 1920s-1970s

（2）コレクション展

特定のテーマに基づき、他館からの借用も含めつつ、主に館収蔵作品を県民に広く公開することを目的とした展示を行う。 （令和7年11月末現在）

展覧会名	開催期間	観覧者数
コレクション展III 阪神・淡路大震災30年 「あれから30年—県美コレクションの半世紀」	R7.1.7～R7.4.6	15,976名
コレクション展I ベスト・オブ・ベスト2025	R7.4.24～R7.12.14	50,471名
コレクション展II 兵庫のベスト・オブ・ベスト	R8.1.14～R8.4.5	—

(3) 2025県展

県内で制作活動に励むアマチュアの作品発表の場、新進美術家の登竜門として公募にて作品を集め展示を行う。

ア 場 所 県立美術館ギャラリー棟3階ギャラリー
イ 期 間 令和7年11月15日(土)～11月30日(日)
ウ 参加者 2,409名

(4) 様々な芸術との融合事業 (令和7年11月末現在)

事 業 名	回数	入場者数
ミュージアム・コンサート等	6	521名
舞台芸術等	5	417名
シネマサロン等	9	1,258名
その他	0	0名
計	20	2,196名



ミュージアム・コンサート(美術館の調べ)

(5) 館長トーク (令和7年11月末現在)

各界からゲストを招き、美術館の中長期的な課題について一緒に考えるトークセッションシリーズを開催する。

ゲスト名	実施日	参加人数
中山聖氏(中山岩太の会代表)	R7.5.18	63名
小沢剛氏(アーティスト)	R7.8.11	62名
松隈章氏(一般社団法人聴竹居倶楽部代表理事)	R7.10.25	120名
計		245名

(6) 教育・普及活動 (令和7年11月末現在)

ア 学校教育との連携

(ア) 学校団体鑑賞

県内外から学校団体を受け入れ、児童・生徒等を対象に常設展においてギャラリートークを行うなど、美術鑑賞教育を通じて児童生徒の感性を豊かに育み芸術文化に対する関心を深める。

実施校数 146校 計 6,254名

(イ) 出前授業

県内の小中学校へ学芸員やエデュケーターを講師として派遣し、芸術鑑賞の魅力を学習させるとともに、美術館活動の紹介を行い、児童・生徒に展覧会鑑賞の楽しさを伝える。

実施校数 5校(7回) 計 371名

イ 美術講座

日本画、洋画等の描画指導や美術鑑賞講座を実施

講座数 16講座(1回30名定員) 計 416名

ウ 福祉施設等への出前講座 10回

(7) ネットミュージアム兵庫文学館

ネットを通して県内各地に散在している豊富な文学関係資料等を紹介することによって、いつでも、誰でも、どこでも楽しく学ぶことができる学習資源・機会の提供を行う。

- ・常設展示 「作家」「地域」「時代」に分け、兵庫ゆかりの作家や文学を紹介
- ・企画展示 兵庫ゆかりの作家の作品概略、時代背景、作家の生い立ちなどを紹介
- ・兵庫ゆかりの文学の理解を深める「兵庫文学館検定」を実施

(8) ミュージアムロードによる周辺地域の活性化

平成22年に横尾忠則現代美術館・王子動物園から県立美術館までの道路を「ミュージアムロード」と名付け、地域の内外から多くの人々が自然と集まる魅力あふれる文化ゾーンにする取組を展開する。

- ・1 DAY JAZZ ROADの開催 (令和7年10月18日(土))
県立美術館ステージにてプロミュージシャンや高校生ビッグバンドによる演奏
参加者 800名
- ・美かえるカラフルマルシェの開催(令和7年11月30日(日))
ワークショップや物販、抽選会など 参加者 1,900名



1 DAY JAZZ ROAD



美かえるカラフルマルシェ

6 魅力と活力ある県立美術館のあり方検討

1,000千円

阪神・淡路大震災からの「復興のシンボル」として平成14年に誕生した県立美術館が、前身である旧県立近代美術館（昭和45年開館）を含めて令和12年には60周年を迎える中、これから「県立の美術館」に求められる役割や、施設改修をはじめとする管理運営をどのように展開すべきかの方向性を検討するため「兵庫県立美術館活性化検討委員会」を設置した。

委 員：6名（学識経験者、各界代表者、博物館関係者、行政関係者等）

開催回数：年4回

（令和7年7月23日（水）、9月30日（火）、12月16日（火）、令和8年3月予定）

内 容：美術館の現状と課題、運営手法の方向性について、施設の魅力向上の方針について

7 県立人と自然の博物館の運営

337,266千円

所 在 地：三田市弥生が丘6

設置年度：平成4年10月開館

設置目的：自然の摂理、生命の尊厳及び人と
自然の調和した環境の創造に関する
県民の理解を深め、教育、学術
及び文化の発展に寄与する。

利用状況：令和7年度 713,893名（11月末現在）

（令和6年度 1,184,066名）



（1）企画展示等

（令和7年11月末現在）

展示名	開催期間	入場者数
（企画展）価値の手直し展 ～アップサイクルから見つめるモノと人の豊かな関係～	R7.2.15～R7.5.31 (106日間)	46,799名
（企画展）甲虫展 -ひとはくコレクションのビートルズ-	R7.7.19～R8.1.12 (178日間)	85,572名
（企画展）DNAってすごい！展 ～自然史研究の大革命～	R8.2.11～R8.5.31 (110日間)	—

（2）セミナーの開催

自然・環境に関する県民参加型の各種セミナー

（令和7年11月末現在）

名称	内容	回数	延べ参加者数
一般セミナー	多彩な専門的学習プログラム	171	1,730名
オープンセミナー	楽しく参加できる易しいプログラム	663	32,232名
特注セミナー	来館団体の要望に応じて企画するプログラム	154	7,979名
	計	988	41,941名

（セミナーの一例）

「甲虫標本を作ろう」、「Bird collections at Hitohaku (in English)」、
「地面が液状になるのってナンデナン？」、「ピカピカ泥だんごを作ろう」、
「風に乗って飛ぶタネの模型をつくろう」、「保全遺伝学入門」、
「化石発掘体験セミナー」、「兵庫の恐竜～兵庫五国、太古のいきものたち～」、
「地域防災と神社」、「五感で楽しむコーヒー焙煎」など



「植物標本をつくってみよう！」
(コレクショナリウム ワークルーム)



「身近なところで虫さがしー
こんなところに虫がいるの、ナンデナン？」
(コレクションナリウム前～恐竜ラボ周辺)

(3) 移動博物館車「ゆめはく」の運用

人博から遠方の幼稚園や保育園等、特に地方部へ出張し、小学校や環境教育の充実を図るため、展示・学習設備等を備えた移動博物館車「ゆめはく」により、アウトリーチ活動を一層の充実を図る。

ア 回 数 39回 (令和7年11月末現在)

イ 参加者 7,737名

ウ 行き先

- ・学校 8 (小学校)
- ・幼稚園 5、保育園 2、認定こども園 7
- ・その他社会教育施設 13
- ・商業施設 (道の駅等) 4

※県内 38回、県外 1回

県内：県立図書館、浜甲子園団地、香美町小代地域局 等



移動博物館車「ゆめはく」

(4) 地域研究員等の活動支援

セミナー受講者等で、地域の自然環境の研究、学習活動に取り組む個人・グループのうち一定レベルにあるものを「地域研究員」等として認定し、研究発表の場「共生のひろば」の開催、施設の利用など、自主的な研究活動を促進する。

ア 地域研究員 63名

イ 連携活動グループ20 (約410名) (令和7年11月末現在)

(5) 篠山層群化石の活用

・地域活性化を目指す人材育成システム構築事業

篠山層群から産出される貴重な化石の剖出 (クリーニング) 作業を促進し、化石資料を有効に活用するための地域人材を安定的に育成していく体制づくりを推進する。

ア 剖出作業の促進体制

・化石整理技術指導員 1名

・剖出技師 5名

イ 市民ボランティアの養成(令和7年11月末現在)

・市民化石剖出ボランティアの養成研修

登録人数 39名、参加人数のべ 1,781名

・市民石割調査ボランティアの養成研修

登録人数 191名、参加人数のべ 1,643名、調査日数 288日間

・化石専門指導員の認定

認定数 26名



化石の剖出作業

篠山層群化石について

【経緯】

平成18年に地元愛好家が篠山川河床において発見し、人と自然の博物館において鑑定した結果、前期白亜紀(約1億1000万年前)の恐竜化石であると判明した。

その後、平成19年1月から数度の発掘調査が行われ、現在では六地点から化石が確認されている。

【成果】

2014年のタンバティナニスを始め、2024年にはヒプノベナトール、ササヤマグノームスといった新属・新種の恐竜が報告された。その他、小型哺乳類のササヤマミロス、カエル類のヒョウゴバトラクス、トカゲ類のモロハサウルスなど、複数の脊椎動物化石が記載報告されている。

(6) コレクショナリウムの活用

令和4年10月に開館したコレクショナリウムにおいては、標本・資料の収蔵機能と展示ギャラリーなどを併設した「まちにひらかれた収蔵庫」として、標本を活かした体験プログラムやデジタル画像を利用した展示を行う。

延床面積：1,508.78m²

- ・展示ギャラリー
- ・コレクションルーム
- ・標本制作室
- ・施設スペース等

入館者数：249,711名

- | | |
|----------------|---------|
| ・令和4年10月～3月末 | 28,092名 |
| ・令和5年度 | 66,211名 |
| ・令和6年度 | 90,473名 |
| ・令和7年度（11月末現在） | 64,935名 |



コレクショナリウム外観



本剥製室(鳥類標本)

8 県立コウノトリの郷公園の運営

107,310千円

所 在 地 : 【コウノトリの郷公園】 豊岡市祥雲寺128

【附属飼育施設保護増殖センター】 豊岡市野上1314-1

設置年度 : 平成11年11月開園(4月一部供用開始)

設置目的 : 特別天然記念物であるコウノトリを保護し、その種の保存を図るとともに、豊かな自然の中で、コウノトリその他の野生生物と共存できる、人と自然の調和した環境の創造について県民の理解を深め、教育、学術及び文化の発展に寄与する。

利用状況 : 令和7年度 59,181名 (11月末現在)
(令和6年度 78,142名)



韓国から譲受けた卵
からふ化した雛

コウノトリの保護・増殖と野生化の取組

(1) 野生化に向けた研究

- ア 鳥類及びその生息環境 (河川流域・植物生態)
- イ コウノトリと人間社会との関係性
- ウ 繁殖・育雛技術
- エ 衛星追跡システムによる個別追跡調査



新温泉町清富巣塔の雛

(2) 保護・増殖と野生化の実績 (令和7年11月末現在)

- ア 飼育個体 97羽 (コウノトリの郷公園)
- イ 野外個体 554羽 (令和7年11月末)
- ウ 野外繁殖実績 (令和7年) ※巣立ち個体数には、卵で救護後にふ化して解放したものを含む。

兵庫県 巣立ち個体数 52

豊岡市 39羽 (※卵の救護3個を含む) 朝来市 2羽 淡路市 3羽
稲美町 3羽 新温泉町 2羽 上郡町 3羽

兵庫県外 巣立ち個体数 100

徳島県鳴門市 2羽 [H29~ 9年連続]	島根県雲南市 8羽 [H30~ 7年連続]
島根県奥出雲町 3羽 [R7 新]	鳥取県八頭町 6羽 [R4~ 4年連続]
鳥取県北栄町 3羽 [R4~ 4年連続]	鳥取県大山町 2羽 [R6~ 2年連続]
京都府京丹後市 7羽 [H30~ 8年連続]	京都府綾部市 13羽 [R2~ 6年連続]
福井県越前市 5羽 [R2~ 6年連続]	福井県小浜市 3羽 [R3~ 5年連続]
福井県鯖江市 3羽 [R4~ 4年連続]	福井県越前町 1羽 [R6~ 2年連続]
石川県珠洲市 1羽 [R7 新]	石川県志賀町 4羽 [R4~ 4年連続]
石川県津幡町 2羽 [R5~ 3年連続]	石川県能登町 1羽 [R7 新]
新潟県上越市 4羽 [R6~ 2年連続]	栃木県小山市 3羽 [R2~ 6年連続]
茨城県神栖市 7羽 [R5~ 3年連続]	茨城県行方市 4羽 [R5~ 3年連続]
茨城県小美玉市 4羽 [R6~ 2年連続]	茨城県水戸市 3羽 [R7 新]
香川県まんのう町 2羽 [R5~ 3年連続]	広島県世羅町 4羽 [R5~ 3年連続]
佐賀県白石町 2羽 [R5~ 3年連続]	愛知県愛西市 3羽 [R7 新] (※卵の救護)

(3) 普及活動、環境教育 (令和7年11月末現在)

講座等	回数	延べ参加者数
郷公園体験講座	7	988名
環境学習実践講座	1	11名
ガイドウォーク	19	325名
特別観察会	5	731名
学校等への出前講座	19	1,101名
計	51	3,156名



郷公園体験講座（巣作り体験）

(4) コウノトリ野生化対策懇話会

コウノトリの野生化に必要な学術分野（動物生態学、河川生態学、遺伝学、獣医学等）の研究者により協議を行い、本格的野生復帰を推進する。

ア 委員 9名

イ 期日 令和8年2月3日（水）（予定）

ウ 内容 令和7年度 今シーズンの繁殖状況 など

(5) 「放鳥20周年」「大阪・関西万博」郷公園魅力創出事業（観察広場の整備）

コウノトリの郷公園は、大阪・関西万博のフィールドパビリオン体験プログラムに認定されており、放鳥20周年を迎えた今年度、新たな魅力を創出するため、西公園エリア観察広場を整備した。

（整備内容）

ア コウノトリをより近くで観察でき、給餌体験等も可能となる飼育ケージの新設

イ 観察広場内に入れるよう遊歩道と手すり等の整備



観察広場 完成図



新設の飼育ケージ(観察広場)

(6) コウノトリ放鳥20周年記念 座談会

「コウノトリとともに歩んだ20年～次の20年に向けて～」をテーマにした報告や座談会

ア 日時 令和7年10月18日（土）13:30～16:20

イ 場所 豊岡市民プラザ多目的ホール

ウ 参加者 210名

(7) コウノトリ放鳥20周年記念植樹

ア 日時 令和7年11月20日（木）11:00～11:30

イ 内容 豊岡市立三江小学校（3年）の環境学習に合わせ、ひょうご元気松を植樹（豊岡コウノトリ森林組合から、赤松の苗を無償提供）。

(8) OEM (自然共生サイト) 関連の企画

- ア 日 時 令和7年11月8日（土）14:00～16:00
イ 場 所 豊岡市コウノトリ文化館
ウ 内 容 コウノトリ放鳥20周年イベント
オープソーラム「野生復帰の始まりの場所でヒトと自然の共生について一緒に考えてみませんか？」

(9) 韓国との個体（卵）の交換について

コウノトリの遺伝的多様性の増加等に資する目的で、兵庫県立コウノトリの郷公園と禮山郡との間で交わした契約書（令和7年2月5日締結）に基づき実施した。
(実施内容)

- ア 令和7年5月26日（月）から28日（水）にかけて郷公園の職員2名が禮山コウノトリ公園に赴き、有精卵5個を譲り受けた。この5個の卵は全てふ化
イ 令和7年10月24日（金）、郷公園の飼育個体2羽を禮山コウノトリ公園に移送

9 県立図書館の運営

91,253千円

所 在 地：明石市明石公園 1-27

設置年度：昭和 49 年 10 月開館

設置目的：県民の教育と文化の発展を図るため、
図書館資料を収集、整理、保存し、
県民の利用に供するとともに、他の
図書館等との相互協力、調査相談を
行う。

利用状況：令和 7 年度 79,121 名（11 月末現在）
(令和 6 年度 116,444 名)



(1) 貸出業務（令和 7 年 11 月末現在）

対 象	件 数
個 人	22,042 件
公共図書館等	8,892 件

(2) 電子書籍サービス（令和 7 年 11 月末現在）

蔵書数	閲覧件数
6,495 冊	11,069 件

電子図書（専門書等）をパソコン、スマートフォン、タブレットから、利用可能
※R5.4 からサービス開始 利用には図書館の利用者登録が必要

(3) レファレンスサービス（調査相談）（令和 7 年 11 月末現在）

件 数	6,840 件
-----	---------

※利用者等の求めに応じ、図書館所蔵資料や各種情報の提供等を通じ、調査・研究の
援助をするサービス

※レファレンスの受付方法：来館による面談、電話、文書、メール

(4) ひょうご図書館情報ネットワークシステム(HAL ネット)（令和 7 年 11 月末現在）

区 分	件 数
ホームページアクセス数	165,406 件
蔵書検索数	2,302,154 件

※県立図書館の業務全般の管理のほか、館内外の利用者に対してインターネット
等を活用した蔵書情報の公開やそれに付随するサービスを提供

【HAL ネットの機能】

- ア 蔵書情報の管理・検索
- イ 利用者情報の登録・管理（WEB からの利用登録申込みなど）
- ウ 蔵書の貸出・返却・予約
- エ 県内市町立図書館等 137 館の蔵書を一括して検索
- オ その他、電子書籍へのアクセス窓口の設置、ホームページの運用など

(5) 研修会等 (令和7年11月末現在)

事業名	回数	延べ参加者数
図書館等職員研修	2	55名
一般講座	4	142名
連続講座	4	317名
出前講座	4	106名
計	14	620名



「絵図の中の銅鐸たち」

(6) 学校等への支援 (令和7年11月末現在)

事業名	回数/校数	参加人数/貸出冊数	内 容
学校サポート講座	9回	343名	県立東灘高校、県立三木東高校、 県立神出学園 丹有地区高等学校図書館関係職員等
団体貸出	23校	1,221冊	県立学校等へのセット貸出 ※

※教科や分野ごとのテーマに応じた30冊程度の図書セットを学校に送付し、

生徒の調べ学習や教員の教材研究などに活用

(テーマ例) 「SDGs」「プラスチック問題」「郷土の歴史」「食の安全」等

(7) 企画展示・図書展示 (令和7年11月末現在)

展示区分	回数	内 容
企画展示	5	「ひょうごEXPO -大阪・関西万博に向けた兵庫県の取り組み-with JICA関西」 「太平洋戦争—終戦から80年—」他
図書展示	6	「ひょうごの城と城下町」、「ひょうごの古墳を知ろう！」他
連携図書展示	8	「華麗なる大正ロマン～童謡と文豪が織りなす、きらめきの言葉たち～」他
親子読書室	1	「第12回KOBE L CO森の童話大賞」
ロビー展示	2	「明石工業高等専門学校建築学科卒業作品展示」他
計	22	



学校サポート講座
(西宮市教育委員会)



企画展示
「ひょうごEXPO -大阪・関西万博に向けた兵庫県の取り組みー」

(8) 連携事業

図書館夏祭り

ア 期 日 令和7年8月23日(土)

イ 参 加 者 724人

ウ 連携協力 県立人と自然の博物館…移動博物館車「ゆめはく」、昆虫展示等
日本教育公務員弘済会…メダカのコタロー劇団による環境学習、
イベントステージ等

県立加古川東高等学校…高校生による「かがく絵本」の読み聞かせ

(9) 県立図書館案内ツアー

ア 期 日 令和7年8月21日(木) 13:30~14:30
イ 会 場 兵庫県立図書館内
ウ 内 容 普段は立入禁止の書庫等のバックヤード
に一般県民を案内



県立図書館案内ツアーの様子

(10) 全国高等学校ビブリオバトル兵庫県大会 2025

ア 期 日 令和7年12月14日(日) 12:30~16:00
イ 会 場 甲南大学 岡本キャンパス
ウ 内 容 全国高等学校ビブリオバトル決勝大会の予選
エ 後 援 活字文化推進会議・甲南大学



ビブリオバトル決勝の様子



バトラー集合写真撮影の様子

2 学校・家庭・地域との協働による豊かな学びの推進

I 家庭の教育力の向上

家庭は、子どもの教育について第一義的責任を有しており、家庭でのふれあいは、子どもが、基本的な生活習慣や生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、他人に対する思いやり、基本的倫理観、自尊心や自立心、社会的なマナー等を身に付けていく上で、重要な役割を果たしている。家庭同士や学校、地域等の交流や協働を通じて学びを積み重ね、親が親として成長しながら子どもと向き合いつつ、子どもの豊かな成長を支えていけるよう、家庭の教育力の向上を図る。

1 P T Aによる学校、家庭、地域の連携強化事業

2,821千円

家庭の教育力向上を図るとともに、地域による子どもたちの安全安心を守る活動等を展開するため、P T Aを核として、地域住民（C：コミュニティ）の参画と協働によるP T C A活動を支援する。

(1) 各学校における取組

ア 家庭教育支援活動

- ・スマートフォン等によるネット・ゲーム依存やS N Sによるトラブルなど、子どもを取り巻く教育課題について地域の関連団体と連携した講演会、学習会
- ・親子のふれ合いや地域住民との交流を目的とした各種イベント

イ 学校教育支援活動

- ・学校行事や校外学習等における地域の人材を活用した教育支援活動
- ・地域ぐるみの教育環境の整備（校区環境美化活動等）

ウ 子どもたちの安全・安心を守る活動

- ・地域ぐるみの子ども声かけ運動
- ・登下校における子どもの安全を守る防犯運動

(2) 地区別研究大会

各校種・地域ごとに優れたP T C A活動の取組内容を普及するための大会を開催

- | | |
|----------------|-----------------------------------|
| ・市町立小中義務特別支援学校 | 8 地区（阪神、北播磨、東播磨、中播磨、西播磨、但馬、丹波、淡路） |
| ・公立高等学校 | 3 地区（神戸・淡路、阪神、丹有） |
| ・県立特別支援学校 | 1 地区（全県）※オンラインで実施 |
| ・国公立幼稚園・認定こども園 | 1 地区（全県） |

(3) 全県研究大会

教育支援活動に関する好事例の共有や情報交換を行い、学校、家庭、地域の連携強化に向けた啓発を図るためにPTA団体が主催する研究大会の開催を支援する。

ア 市町立小中義務特別支援学校

期　　日：令和7年12月6日（土）

会　　場：たんようウェルネスパーク アラベスクホール

テ　　マ：共に学び、共に行動し、共に成長していく

～すべてはひょうごの子どもたちのために～

内　　容：講演、実践発表（5ブロック）

参加者数：270名

イ 公立高等学校

期　　日：令和7年12月6日（土）

会　　場：神戸芸術センター

テ　　マ：PTA活動の活性化と家庭・学校・地域の連携強化

～家庭・学校・地域との協働による豊かな学びの推進～

内　　容：講演、実践発表（3校）

参加者数：482名

ウ 県立特別支援学校

期　　日：令和7年10月2日（木）※オンラインで実施

内　　容：講演、体験発表（1校）

参加校数：27校

(4) 第50回近畿地区高等学校PTA連合会大会（兵庫大会）

近畿地区のPTA関係者が一堂に会し、多様化する教育課題について共に学び、語り合い、発信することにより子どもたちの健全育成を図る大会の開催を支援する。

期　　日：令和7年7月13日（日）

会　　場：アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）

テ　　マ：「これから時代～思いやり、支えあい、互いに感謝～」

内　　容：講演、実践発表

参加者数：714名（ウェブ参加校56校）

(5) 優良PTAの顕彰（令和7年度優良PTA教育長表彰）

県内のPTAの健全な育成、発展に資するため、学校教育の支援や児童・生徒の健全な育成に取り組み、家庭や地域の教育力の向上に大きく実績をあげている県内の優れたPTAを表彰する。

・表彰団体（10団体：幼1、小中5、高3、特1）

三木市立三樹幼稚園みどり会、宝塚市立宝塚小学校育友会、高砂市立伊保小学校PTA、姫路市立安富中学校PTA、朝来市立和田山中学校PTA、洲本市立大野小学校PTA、県立高砂南高等学校PTA、県立豊岡高等学校PTA、県立龍野北高等学校PTA、県立姫路聴覚特別支援学校PTA

〈主な表彰内容〉

団体名	活動
三木市立三樹幼稚園 みどり会	役職やクラスにこだわらず、PTAの役職のあり方もPTA自身が決めることができ、「できる時にできる人がする、負担のないPTA」を試みている。岩宮屋台保存会の方に屋台について教えてもらったり、地元の農家の方に作物の育て方を教えてもらったりすることで教育・保育活動の発展や質の向上に繋がっている。
高砂市立伊保小学校 PTA	コロナ禍で開催を控えていた「三世代交流ふれあい祭り」を、青少年健全育成協議会などと連携して再開した。『伊保でのくらしに癒しと幸福を。』をテーマに、子どもたちに楽しい経験のひとときを提供するだけでなく、老人会や自治会、婦人会など各種団体の方々にふれあいの機会を提供した。
姫路市立安富中学校 PTA	地域住民と連携し、「あじさいの町」の復活を目指した「安富町花あじさい復活プロジェクト」を実施した。2023年から始まる同プロジェクトにより、中学生が主体的に「まちづくり」に関わることで、郷土愛の育成等を育む一環として活動を継続している。
県立豊岡高等学校 PTA	豊岡市の伝統行事「柳まつり」では、特製のうちわを持ちながら豊岡おどりを披露することで、地域行事の活性化に貢献している。但馬地区PTA連合会で実施する「正しい通学マナー指導」では、バスの停留所や駅、市内各所で生徒の通学状況を確認しながら、声かけを行っている。また、学校祭では、生徒の成長と保護者の見守りに役立つ講演会を実施している。
県立姫路聴覚 特別支援学校PTA	月1回、「手話交流会」を実施し、保護者間の交流を図るとともに手話力を高めることで、会話が広がること、聞こえないことへの理解を深めることができている。文化祭では、販売活動を通して、校内だけでなく校外の団体との交流の輪が広がっている。会則や会費、行事を再検討し、時代やライフスタイルにあわせて活動の見直しを行っている。

(参考)

令和7年度優良PTA文部科学大臣表彰

神戸市立兵庫くすのき幼稚園PTA、兵庫県立三田祥雲館高等学校育友会、
丹波市立北小学校PTA、神戸市立西郷小学校PTA、湊川短期大学附属北摂中央幼稚園保護者の会

県内市町立学校のPTA設置状況（神戸市除く小・中・義務教育学校・特別支援学校。類似を含む）

設置校数 792校/816校（設置率97.1%）

II 地域の教育力の向上

地域社会において、子どもたちが多様な学びや交流により豊かに成長していくため、学校と地域の相互の連携・協働のもとに学校づくりと地域づくりを進め、相互に育ち合いながら、地域の教育力の向上を図る。

1 学校を核とした地域連携促進事業

67,295千円

社会教育法に基づき、地域と学校が連携・協働して、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていくため、地域学校協働活動を積極的に推進する。

また、「地域とともにある学校づくり」を進めるコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置する学校）との一体的な取組を推進し、地域全体の教育力の向上を図る。

（1）体制の推進

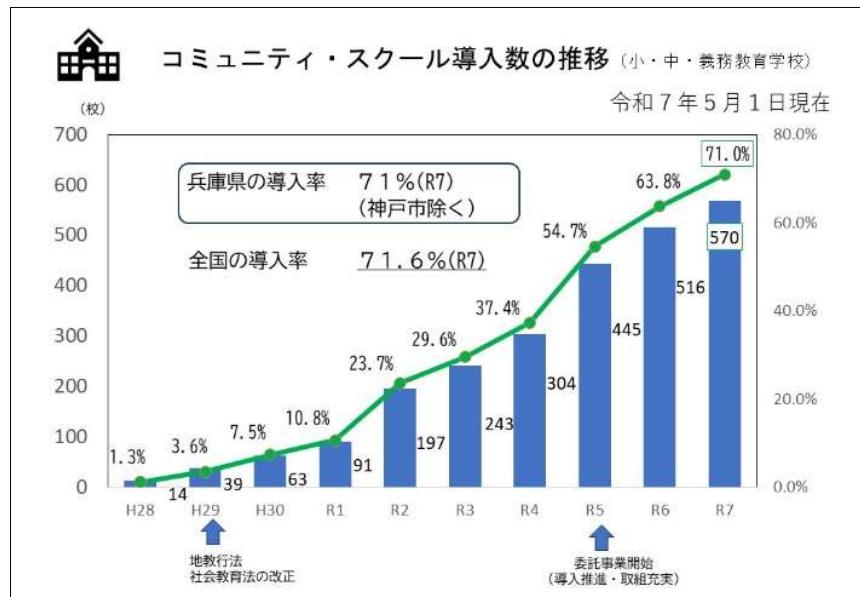
ア コミュニティ・スクールの推進

学校運営の基本方針の承認、学校運営への意見具申等、保護者や地域住民等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画し、それぞれの役割を明確化しながら連携・協働して子どもたちの成長を支える仕組みを構築する。

設置状況（令和7年5月末現在）※市町立小・中・義務教育学校の合計（政令市・中核市を除く）

- ・設置校数：410校/541校（設置率：75.8%）
- ・設置市町数：30市町/36市町（設置率：83.3%）

＜コミュニティ・スクール導入数の推移＞



イ 地域学校協働本部（各学校区）の設置

地域住民、団体等の参画により、地域学校協働活動を推進する体制（地域学校協働本部）を構築し、地域による学校を支援する活動や地域における学習支援・体験活動等を行う。

構成：学校、PTA、自治会、地域ボランティア等の関係者

設置状況（令和7年5月末現在）※市町立小・中・義務教育学校の合計（政令市・中核市を除く）

- ・設置校数：511校/541校（設置率：94.5%）

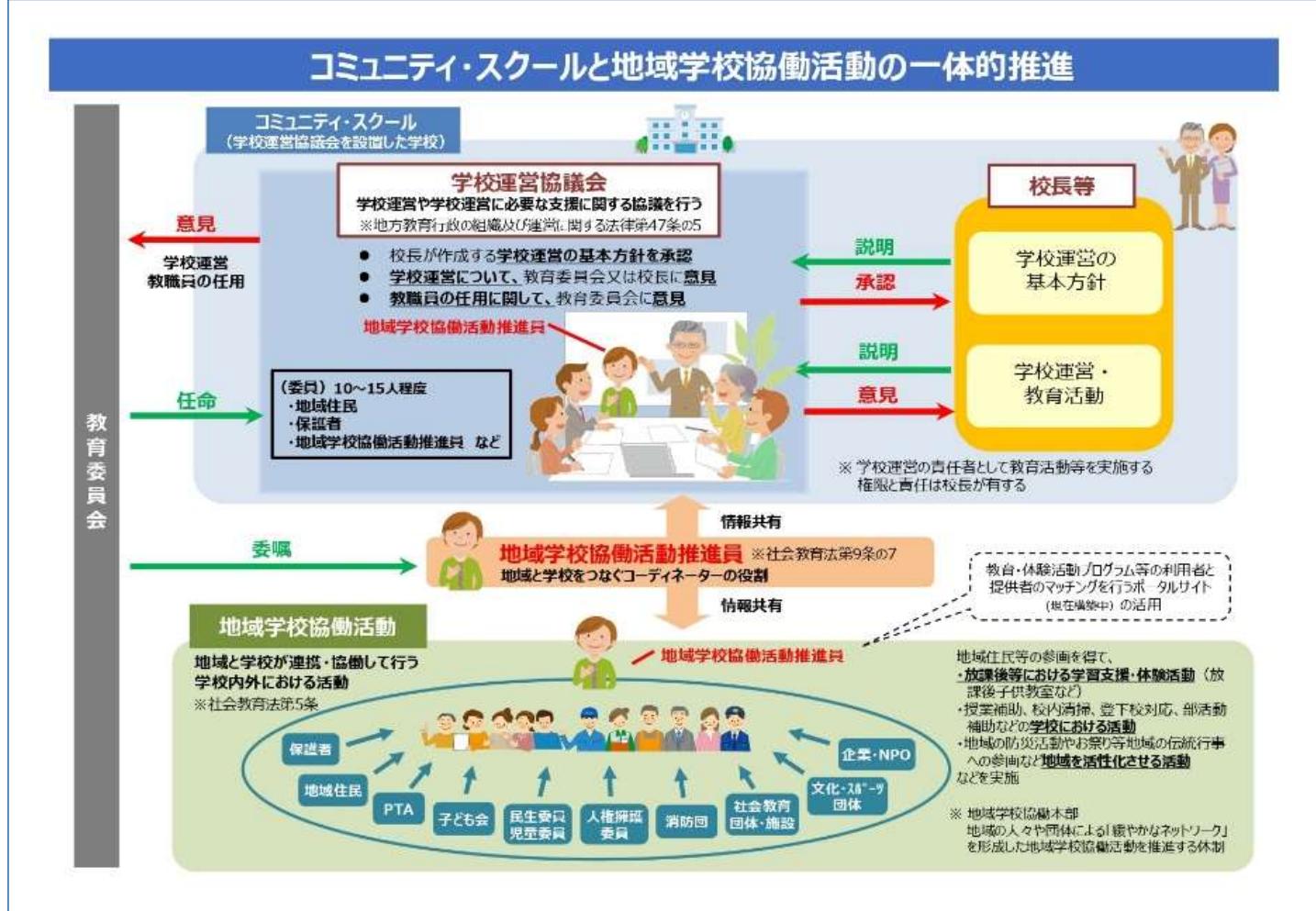
<地域学校協働活動の具体的な活動>

○地域による学校を支援する活動

登下校見守り、放課後・夜間の見守り、休み時間の対応、補導時の対応、校内清掃、給食時の対応、授業の準備等学校以外の主体が学校を支援する活動

○地域における学習支援・体験活動

ふるさと学習や郷土の伝統・文化芸術学習や、宿題のサポート等学習支援（地域未来塾）、学習、スポーツ・文化活動、地域住民との交流（放課後子ども教室）等、地域人材の協力、知見や技能等を活用した活動



(文部科学省作成 行政説明資料より抜粋)

(2) 市町への支援

コミュニティ・スクールの導入を進めるとともに、地域学校協働活動の充実を図る。

ア 地域コーディネーター等（統括地域学校協働活動推進員等）の配置

役 割：地域学校協働活動等の連携についての調整、学校や学校関係者・地域の団体等との連絡調整等

配置人数：538人（政令市・中核市を除く）

イ 地域連携関係者研修

地域と学校の連携・協働の関係者が、地域と学校の連携・協働に関わる取組の現状と課題、人材の育成・資質向上についての幅広い知識や技能を身につけることにより、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進を図る。

対 象：統括地域コーディネーター等、地域と学校の連携を担う者及びその関係者、行政関係者、学校関係者、社会教育士 等

内 容・全県講座

第1回 期 日：令和7年6月26日（木）

場 所：東灘だんじりミュージアム

参 加 者：205名

第2回 期 日：令和7年12月12日（金）

場 所：県立総合教育センター

参 加 者：200名（予定）

・地区別講座（県内6地区）

ウ 地域連携アドバイザー・文部科学省CSマイスターの派遣

コミュニティ・スクールの導入や地域学校協働活動についての助言を行う地域連携アドバイザーを市町及び県立学校に派遣し、「地域とともににある学校」づくりの推進を図る。（派遣回数 11回）（令和7年11月末現在）

エ コミュニティ・スクールの導入推進及び活動の充実を図る実践研究

市町に委託して、既存コミュニティ・スクールの発展・拡充及び更なる導入に向けた調査研究を実施する。（委託市町 21市町）

（ア）導入推進の取組

対 象：コミュニティ・スクール未導入または一部のみ導入済みの市町

内 容：コミュニティ・スクール未導入の学校における個別の課題等について検証し、コミュニティ・スクールの導入に向けた具体的方策を検討

（イ）活動充実の取組

対 象：コミュニティ・スクール導入済みの市町

内 容：導入済みのコミュニティ・スクールにおいて、地域学校協働活動を活用した「社会に開かれた教育課程」や、学校や教員の課題・ニーズを踏まえた教員の働き方改革に資する活動の実施について具体的な方策を検討

(3) 県立学校での取組

県立学校が推進する特色ある教育を地域が支援する体制を構築するため、地域と連携した教育活動を実践するコミュニティ・スクールを実施する。

ア 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下、法）に基づくコミュニティ・スクール

実施校10校（高等学校6校、特別支援学校4校）

イ 兵庫県版コミュニティ・スクール

実施校46校（高等学校34校、特別支援学校12校）

＜「法に基づくコミュニティ・スクール」と「兵庫県版コミュニティ・スクール」の比較表＞

	法に基づくコミュニティ・スクール	兵庫県版コミュニティ・スクール
根拠法	地教行法（第47条の5）	なし（設置要綱等による施行）
役割	学校の運営及び運営への必要な支援に関する協議する機関	学校が推進する特色ある教育に対し、地域社会が学校を支援する仕組み
基本方針の承認	承認を得なければならない	想定しない
学校運営への意見具申	教育委員会又は校長に対して意見を述べることができる	学校運営協議会は、「特色ある教育」に関する事項について、校長の求めに応じ、意見を述べることができる
教職員の任用への意見具申	教育委員会規則で定める事項について、意見を述べることができる	想定しない
学校支援等	想定しない	特色ある教育に対する、必要な支援活動を検討・実施する
委員の身分	特別職の地方公務員	要綱等における委員
設置及び委員の任命権者	教育委員会	校長
予算措置	あり（国の地方交付税措置にもとづき県で予算化）	なし（各校で対応）

〈主な活動内容〉

学校名	活動内容
尼崎高等学校	商店街や施設等の地域資源を活用した探究活動
西脇北高等学校	小学生への学習指導や地元の祭りの準備や運営
神崎高等学校	地元自治体との連携事業（メタバース講習会、DXワークショップ）
柏原高等学校	コーディネーターによる地域や大学と連携した探究的な学び
阪神特別支援学校	尼崎市営時友集会所における出張喫茶の実施
氷上特別支援学校	地域の商業施設と連携した販売実習



日野納涼祭（県立西脇北高等学校）



出張喫茶（県立阪神特別支援学校）